

Sydney & NSW Map

シドニー&ニュー・サウス・ウェールズ州マップ



#ilovesydney
#NewSouthWales

ニュー・サウス・ウェールズ州政府観光局 ■禁無断転載・複写 © Destination NSW 掲載情報はすべて2022年3月現在のもので、

街中の移動にはオパール・カードが便利！



オパール・カードとは公共交通機関で利用できるチャージ式ICカード。シドニー広域圏のフェリー、電車、バス、ライト・レールで利用でき、どの切符を買うか悩んだり、切符売場に並んだりせず公共交通機関への乗車・乗船ができる優れもの。大人・子供の2種類のカードがあり、普通の切符より利用料金も安くなるのでぜひ手に入れておきたい。

どこで手に入れるの？

駅のインフォメーションデスクやスーパー、コンビニなどで購入できる。カード自体は無料だが、購入の際にチャージ（入金）する金額を聞かれるので、その場で入金するだけですぐに使うことができる。入金は20ドルから。



使い方は簡単！

日本のSuica・PASMOなどのIC乗車券の様に、乗るときはタップON、下るときは忘れずにタップOFFするだけ！タップする度に残金が表示されるので、少なくなったら忘れずにリチャージしておこう。

詳しくは<https://opal.com.au>

ライト・レール



セントラル駅からフィッシュ・マーケットを経由してダルウィッチ・ヒルまでを結び、路線に加え、市内中心を走るL2ランドウィック・ラインとL3キングスフォード・ラインの路線が開通した。サーキュラーキーからタウン・ホール、サリー・ヒルズ、そしてシドニークリケットグラウンド、ロイヤルランドウィック競馬場へのアクセスも便利。

■<https://transportnsw.info/travel-info/ways-to-get-around/light-rail>

フェリー



サーキュラー・キーにあるフェリーターミナルから各路線が運行されており、シドニー・ハーバーの美しい景色を眺めながら通勤や通学に毎日利用するローカルの人も多い。タロンガ動物園、マンリー・ビーチにはフェリーで行くのがおすすめ。シドニーならではの交通手段なので、観光の際にはぜひ利用してみたい。

■<https://transportnsw.info/travel-info/ways-to-get-around/ferry/#/>

トレイン



電車はシドニーの便利な交通手段のひとつ。市内を網羅するシドニー・トレインが郊外へ各路線を延ばし、早朝から深夜まで運行されている。またセントラル駅からはNSWトレインリンクが運行する列車にて、気軽にカトーンパ（ブルー・マウンテンズ）、ハンター・バレー方面などに行くことができる。

■<https://transportnsw.info/travel-info/ways-to-get-around/train/#/>

タクシー



タクシーは空港、ホテル、タクシー乗り場などで乗車でき、日本のタクシーと違い自動ドアではないので自分でドアを開けて乗車しよう。料金はメーター制で有料道路や空港の利用料、割増料、迎車料などがかかる場合もある。支払いは現金、クレジットカードに対応。またアップルペイ、グーグルペイ対応のタクシーもある。

■Taxis Combined Services Tel: 133 300 ■13 Cabs Tel: 13 2227

バス



シドニー市内のバス網はとても充実しているので乗りこなせるととても便利。市内と郊外を網の目のように路線が張り巡らされ、ボンダイ・ビーチなど電車でカバーされていない場所もバスを使って行くことができる。車内では日本のような到着アナウンスはないので注意しよう。

■<https://transportnsw.info/travel-info/ways-to-get-around/bus/#/>

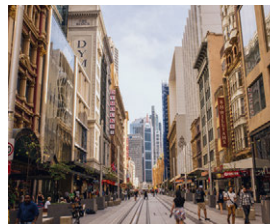
シドニー・ハーバー・クルーズ



一度は行ってみたい世界一美しい港のひとつと言われるシドニー・ハーバーの絶景を満喫。ランチやディナーの豪華な食事やダンスなどのエンターテインメントを鑑賞したり、キャプテン付きのボートをチャーターしたりと楽しみ方も豊富。発着場所は、キングストリート・ワーフ、サーキュラー・キーなどツアーによって異なるので注意したい。

■<https://captaincook.com.au> ■<https://australiancruisegroup.com.au>
■<https://fantasea.com.au> ■<https://sydneyharbourboattours.com/>

ちょっと足をのばしてみたい ユニークなシドニー周辺の街並 シティ&サバーク



シティ&CBD Sydney CBD

シドニー・オペラ・ハウスのあるサーキュラー・キーから南のセントラル駅までの約3kmに及ぶエリア。CBDとはビジネス中心区域（Central Business District）の意味で、一般的にシティと呼ばれている。近代的な高層ビルが建ち並び、歴史的建造物もいたるところに見られ、観光の見どころやショッピングスポットも多い。

<https://jp.sydney.com/destinations/sydney>



バラングラー Barangaroo

市街周辺マップ: D-2

以前は工業用のエリアだった場所を再開発したウォーターフロントエリア。モダンなレストラン、カフェ、オフィス、高層のラグジュアリーホテルもある。シドニー湾クルーズの発着場所のキング・ストリート・ワーフもあり、シドニーで最も注目されているエリアの1つだ。ダーリング・ハーバーから海沿いを散歩しながら新しくできた公園バラングラー・リザーブまで歩けば、新しいシドニーを感じることができる。

<https://www.barangaroo.com/>



サリーヒルズ Surry Hills

市街周辺マップ: H-4

シドニー市街の南側、クラウン・ストリートを中心に栄えるエリア。シドニーの中でもカフェ・激戦地区のひとつとして数えられ、おしゃれなオープンカフェが軒を連ねる。メイン通りにはエコやオーガニックを意識したショップ、さらに若いアーティストたちのギャラリーやブティックなどがズラリと並び、アート志向の強いヤング層に人気スポットでもある。日本でも有名な「ビルズ」もここにある。街をひと通り歩いた後は、気に入ったカフェでひと休みしてみたい。

<https://www.sydney.com/destinations/sydney/inner-sydney/surry-hills>



パディントン Paddington

市街周辺マップ: H-5

シドニーのハイド・パークからオックスフォード・ストリート沿いに広がる芸術家を中心に発展したエリア。おしゃれなカフェやレストラン、ブティックが集まり、裏通りに入るとアイアンレースのテラスハウスが連なる昔ながらの街並みが広がる。毎週土曜日に開催されるパディントン・マーケットは1973年から始まったシドニーで最も歴史がある人気のマーケット。150以上のお店が集まり、古着や工芸品、ハンド・メイドのアクセサリーやアロマグッズなど個性的な品が勢揃いする。

<https://www.sydney.com/destinations/sydney/inner-sydney/paddington>



マンリービーチ Manly Beach

シドニーのフェリー発着所サーキュラー・キーからフェリーに乗って30分。マンリー・ワーフに到着しレストラン、カフェ、ショップなどが立ち並び「ザ・コルム」と呼ばれる遊歩道を歩いていくとマンリービーチに到着する。シドニーで最も有名なビーチのひとつのマンリー・ビーチは1964年に初めてサーフィンの世界大会が開催されたビーチとしても知られる。海を眺めながらの食事やカフェでのんびりするだけでも楽しい。

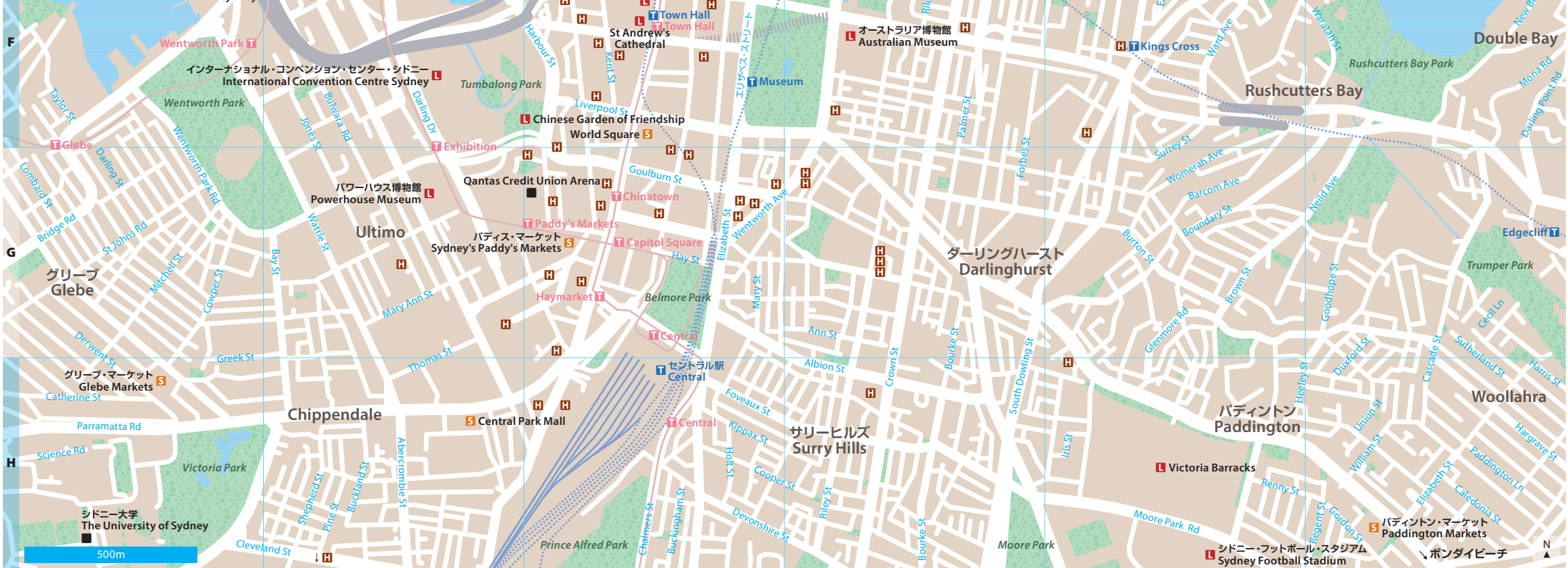
<https://jp.sydney.com/things-to-do/beach-lifestyle/manly-beach>



ボンダイビーチ Bondi Beach

世界的にも名の知れたシドニーで最も人気のビーチ。ボンダイとはアボリジナル・ビールの言葉で「岩に砕ける波」を意味し、その言葉どおりサーフィンのメッカとしても有名。透き通る青い海と砕け散る白い波のコントラストは非常に美しく、眺めのよい海岸沿いを散歩したり、ランニングをしたりする人も多い。トイレやシャワーなど施設も充実しており、周辺にはサーファーズブランドのショップやおしゃれなレストラン、カフェが並び、海岸線をウォーキングするボンダイ・プロンテもおすすめ。

<https://jp.sydney.com/destinations/sydney/sydney-east/bondi>



シドニーは魅力あふれるイベントが目白押し！ 詳しい日程は各サイトをチェック！

シドニー・フェスティバル Sydney Festival

1月

毎年1月に開催されるシドニー最大級の芸術祭。アートと文化を融合させた演劇、音楽、ダンス、サーカスなど、様々なパフォーマンスやイベントが約3週間にわたって市内各地で繰り広げられ、お祭り気分がシドニーが盛り上がる。気になる催し物をチョイスして出かけてみたい。

■シドニー市内など
https://www.sydneyfestival.org.au



シドニー・ゲイ&レスビアン・マルディグラ Sydney Gay and Lesbian Mardi Gras

2~3月

世界最大のLGBTQ+のお祭り。約1か月にわたって市内各所で関連イベントが開催される。なんといってもハイライトはハイド・パークからオックスフォード・ストリートにかけて行進するパレード。様々な団体が国内外から参加し、きらびやかな衣装や華やかなパフォーマンスに観客の目は釘づけ。

■シドニー市内など
https://www.mardigras.org.au

ハンダ・オペラ・オン・シドニーハーバー Handa Opera on Sydney Harbour

3~4月

シドニー湾を目の前に望む海辺で1か月に渡り上演される野外オペラ。2012年から開催されている。舞台は水上に張り出すように造設され、舞台の背景にはシドニー・オペラ・ハウス、シドニー・ハーバーブリッジが望め、頭上には星空が広がる何とも贅沢なステージ設定。観劇前に食事やカクテルも楽しむことができる。

■シドニー湾特設会場
https://www.opera.org.au

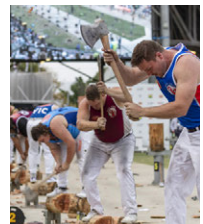


シドニー・ロイヤル・イースターショー Sydney Royal Easter Show

3~4月

約200年の歴史を誇る長寿イベント。名産品の販売、子供向けの遊園地など家族連れに大人気。ファームから来たヤギやヒツジなどの動物とふれあえる体験ができ、なかでも腕っ節の強いオージー・ファーマーたちが腕力を競い合う“丸太切り大会”は必見。

■シドニー・オリンピック・パーク・ショウグラウンド
https://www.eastershow.com.au



ビビッド・シドニー Vivid Sydney

5~6月

市街中心部を舞台に繰り広げられる南半球最大級の音と光とアイデアの祭典。国内外のアーティストによる音と光と映像を駆使したアートや光の彫刻が街のいたるところに仕掛けられ、幻想的な世界に目を奪われること間違いなし。現代美術館やシドニー・オペラ・ハウスをキャンバスにライトアップされたプロジェクションマッピングは見ごたえ十分。

■シドニー市内各所
https://www.vividsydney.com/

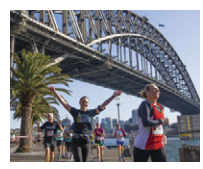


シドニーマラソン (シドニー・ランニング・フェスティバル) Blackmores Sydney Running Festival

9月

2000年に開催されたシドニー・オリンピックを記念してその翌年から始まった南半球最大級のマラソン大会。フルマラソン、ハーフマラソンのほか10キロと3.5キロの種目があり、全種目でシドニー・ハーバーブリッジを渡る人気のランニングイベントとしてシドニー市民に親しまれている。

■ミルンズ・ポイント (スタート)
https://sydneyrunningfestival.com.au/
https://www.sydnymarathon.jp



スカルプチャー・バイ・ザ・シー Sculpture by the Sea

10~11月

ボンダイ・ビーチからタマラマ・ビーチまでの海沿いの遊歩道に約100点もの彫刻が展示される世界最大級の野外彫刻展。世界各国のアーティストが作品を出展しており、約2キロの遊歩道に並んだ彫刻を自然の絶景とともに観賞しながら散歩が楽しめる。週末は多くの人でにぎわうため、ゆっくり鑑賞するなら平日がオススメ。

■ボンダイからタマラマまでの沿岸遊歩道
https://sculpturebythesea.com/bondi/



グラフトン・ジャカランダ・フェスティバル Grafton Jacaranda Festival

10~11月

毎年10月~11月にかけて街の至る所で紫色のジャカランダの花が咲き乱れるグラフトンで開催されるフラワーフェスティバル。約90年の歴史を誇り、期間中にはパレード、マーケット、ライブパフォーマンスや花火など様々なイベントが実施される。

■グラフトン・ジャカランダ・フェスティバル
https://www.jacarandafestival.com/

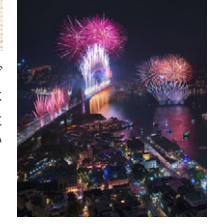


ニューイヤーズ・イブ・ファイヤーワークス New Year's Eve Fireworks

12月

真夏の大みそかはシドニー湾に集合！シドニーで年越しするなら必ず見ておきたいのがニューイヤーズ・イブ・ファイヤーワークス。毎年異なるテーマでプロデュースされる花火の音と光を駆使した演出は見ごたえ十分。シドニー・ハーバーブリッジから打ち上げられる花火はとにか必見。毎年9時と0時に打ち上げられる。

■シドニー湾
https://www.sydneynewyearseve.com





MAP LEGEND (凡例)

- Sydney and Surrounds
- North Coast
- New England
- Outback
- Country NSW
- Riverina
- Murray
- Goulburn, Yass, Queanbeyan
- Snowy Mountains
- South Coast
- Lord Howe Island
- Freeway/Highway
- Main Road
- Airport (Commercial flights)
- Airfield (Charter/Private flights)

SCALE
0 km 50 100 150 200

ニュー・サウス・ウェールズ州マップ

魅力あふれる各地を旅しよう！

ニュー・サウス・ウェールズ州の魅力はシドニーだけではない。シドニーの街から離れて地方にも足をのばしてみたいかだろうか。見どころいっぱい、の素敵なスポットが点在し、訪れた人でしか味わうことのできない発見や感動が待っている。

壮大な自然に触れたいなら世界遺産で有名なブルー・マウンテンズやマンゴ国立公園、グルメな旅がしたいなら国内有数のワインの産地として有名なハンター・バレーや食材の宝庫オレンジと、選択肢は無限大。さあ、目的に応じた旅程を組んで、ニュー・サウス・ウェールズ州の魅力を体感してみよう！

#NewSouthWales

 /visitnsw

 @visitnsw

 @NewSouthWales

 /visitnsw



ブルー・マウンテンズ Blue Mountains

州マップ: C-4

シドニーの西に位置する世界自然遺産の一つブルー・マウンテンズ。その名前は広大なユーカリの森が創り出す天然の青い霧（もや）に由来し、自然が育む神秘の奇景は思わず息をのむ美しさ。3人姉妹の伝説で知られる「スリー・シスターズ」の岩石層を眺められるエコー・ポイント展望台からは素晴らしい大自然の景色が楽しめ、シーニック・ワールドのケーブルウェイ、レイルウェイ、スカイウェイの3種類の乗り物を使えば、ここでしか見られない迫力満点の景色を思う存分楽しめる。さらに足をのばし、世界で最も古い鍾乳洞ジェノラン・ケープにも立ち寄りたい。11ヵ所ある鍾乳洞の中でも最も美しいと言われる「オリエント・ケープ」は見応えあり。



Credit: James Horan



Credit: James Horan

観光だけでは物足りないという人にオススメなのが、ブルー・マウンテンズのトレイル・レース。世界遺産の大自然の中で走れるイベントとして人気があり、毎年5月に開催されている。100km、50km、22kmなどのレースがあるので初心者から上級者まで幅広く参加可能。アップダウンの激しいコースとして有名だが、トレイル好きにはたまらない魅力が満載だ。カトゥーンバのさらに西に位置するウォルガン・バレーには最高級リゾートのウォルガン・バレー・リゾートがあり、この国立公園の大自然に囲まれたエリアではトレッキングやブッシュウォークの最中に思いつく野生の動物に遭遇できるかもしれない。

- ウルトラトレイル・オーストラリア <https://www.ultraustralia.com.au>
- ウォルガン・バレーリゾート <https://www.oneandonlyresorts.com/one-and-onlywolgan-valley-australia>

パラマタ&ウェスタン・シドニー地区 Parramatta & Western Sydney

州マップ: D-4

ニュー・サウス・ウェールズ州は首都圏三都市構想のもとシドニー、第二のビジネス街とも呼ばれるパラマタ、そして2026年に開港予定の国際空港、ウェスタン・シドニー空港を中心に開発が行われているペンリスなどを中心としたウェスタン・シドニー地区に分けシドニーの発展を促進している。なかでも注目なのがパラマタ&ウェスタン・シドニー地区だ。パラマタには多目的スタジアムのウェスタン・シドニー・スタジアムがあり各種イベントに使用されている。またこのエリアには可愛い動物と会えるフェザーデール・ワイルドライフ・パークやシドニー・ズーなどアトラクションにも事欠かない。ペンリスにはウエスタン・シドニー大学のキャンパスもある。

- フェザーデール・ワイルドライフ・パーク <https://www.featherdale.com.au/>
- シドニー・ズー <https://sydneyzoo.com>
- ウエスタン・シドニー大学 <https://www.westernsydney.edu.au>
- ウェスタン・シドニー・エアロトロポリス <https://www.global.nsw.gov.au/precincts/western-sydney-aerotropolis>



バサースト Bathurst

州マップ: C-4

バサーストは1850年代のゴールドラッシュ時に栄えた歴史のある街。街中には1888年に建てられたバサースト裁判所や1870年代に建てられ、ツアーやアフタヌーンティーなどが楽しめるアバクロンビー・ハウスなど、当時を彷彿させる建築物が今も残っている。モータースポーツのメッカとしても知られ、有名なマウント・パノラマ・サーキットでは、バサースト12時間レース、バサースト1000などのカーレースが開催され、レースがない時には一般の走行も可能。サーキットの隣にはナショナル・モーター・レーシング・ミュージアムもある。

- バサースト <https://www.visitnsw.com/destinations/country-nsw/bathurst-area/bathurst>
- アバクロンビー・ハウス <https://www.abercrombiehouse.com.au/>
- ナショナル・モーター・レーシング・ミュージアム <https://museumsbathurst.com.au/national-motor-racing-museum/>



Credit: Liqui Moly Bathurst 12 Hour

セントラル・コースト Central Coast

州マップ: C-5

セントラル・コーストは、シドニーとニュー・サウス・ウェールズ州第二の都市であるニューカッスルの間に位置する地域。セントラル・コーストの中心地ゴフォード近郊にはオーストラリア固有の動物に出会えるオーストラリア・レパタイル・パークがおすすめ。パール・ビーチやエタロン・ビーチ、パトonga、アボカ、テリガルといった陽気なビーチタウンではフィッシング、サーフィンなど様々なアクティビティが楽しめる。シドニーから車でちょうど1時間の距離のグレンワース・バレー・アウトドア・アドベンチャーでは乗馬や四輪バイク、カヤックなどが体験できる。

- セントラル・コースト <https://jp.sydneysm.com/destinations/central-coast>
- オーストラリア・レパタイル・パーク <https://www.reptilepark.com.au/>
- グレンワース・バレー <https://glenworth.com.au/>



Credit: The Legendary Pacific Coast

ニューカッスル Newcastle

州マップ: C-5

シドニーから車で約2時間、ニューカッスル空港を利用すればシドニーから45分。ニュー・サウス・ウェールズ州第二の商業都市として知られるニューカッスルはサーフィンの国際大会が開催されるサーフィンのできる美しいビーチが点在する。グルメスポットとしても人気があり、街にはレストランやバー、おしゃれなアウトドアカフェが軒を連ねる。日中はカフェでゆっくり過ごし、夜は海岸沿いのレストランやバーでディナーを楽しむのもいい。ハンター・バレーやポート・ステイブンスまでも車で1時間ほどの便利な場所。ニューカッスル大学もあり美しい自然の中での学びもおすすめ。

- ニューカッスル <https://jp.sydneysm.com/destinations/north-coast/newcastle-area>
- ニューカッスル空港 <https://www.visitnewcastle.com.au/>
- ニューカッスル大学 <https://newcastleairport.com.au>
- ニューカッスル大学 <https://www.newcastle.edu.au>



ハンター・バレー Hunter Valley

州マップ: C-4

オーストラリア最古のワイン産地として知られるハンター・バレー。ワイナリーを巡るツアーに参加し、セラードアでローカルワインの知識を深めるもよし、上質なレストランで地元のワインや農産物を楽しみながら賢い時間をお過ごしください。特に毎年5月と6月の収穫祭は、地元産のおいしいワインと新鮮な果物、チーズ、ビールを味わう絶好の機会だ。ポコルビン・ブドウ畑に囲まれたハンター・バレー・リゾートからはワイン・カンタリーを一望でき、乗馬やテニス、料理教室といったワイン以外のアクティビティも充実。また、ザ・ビンテージのチャンピオンシップ・ゴルフ・コースがあり、さまざまなテーマの美しい庭が楽しめるハンター・バレー・ガーデンズもおすすめ。

- ハンター・バレー・リゾート <https://www.hunterresort.com.au>
- ザ・ビンテージ <https://www.thevintage.com.au/golf/>
- ハンター・バレー・ガーデンズ <https://www.huntervalleygardens.com.au>



Credit: Hugh Stewart



Credit: Cessnock City Council

ハンター・バレーを訪れたら、気球に乗って果てなく広がるぶどう畑の美しい風景を満喫しよう。夜明けとともに出発する約1時間の遊覧飛行では、ポコルビンやラブデール、ロズベリー、ブロークなど眼下に広がるワイナリーの素晴らしい景色を堪能できる。時には飛び跳ねるカンガルーの群れが現れる事も。着陸後はスパークリングワイン付きの朝食を楽しみたい。なお、遊覧飛行ツアーは年間を通して参加できる。

- 気球遊覧飛行ツアー <https://www.balloonaloft.com>
- ハンター・バレー <https://www.winecountry.com.au>
- ハンター・バレー <https://jp.sydneysm.com/destinations/hunter>

アーミデール Armidale

州マップ: B-5

ニュー・サウス・ウェールズ州の北部内陸に位置するアーミデールは教育と文化の街として知られる。街の中心にある聖マリア・ジョセフ大聖堂は必ず訪れたい。全体を取り囲む美しい宗教画のステンドグラスと、まるでお城のような外観が見どころ。アーミデールにあるニューイングランド大学は、オーストラリアで最も歴史のある大学のひとつ。古くはシドニー大学のニューイングランドユニバーシティカレッジとして1938年に設立され、1954年にニューイングランド大学として独立して現在にいたる。自然の多い落ち着いたキャンパスで多くの学生が学んでいる。



■アーミデール
<https://www.armidaletourism.com.au>
■ニュー・イングランド大学
<https://www.une.edu.au>

タムワース Tamworth

州マップ: B-4

カントリーミュージックのメッカとして知られる街。1973年から開催されているオーストラリア最大で歴史あるカントリー・ミュージック・フェスティバル「タムワース・カントリー・ミュージック・フェスティバル」には、多数のアーティストが集結。規模の大きさから「すべての道はタムワースに通ず」と評されるほど。フェスティバル最大の目玉はゴールデン・ギター賞の受賞式で、大勢の観客が見守る中、栄誉ある最優秀者が表彰される。ビッグ・シングスの一つタムワース・インフォメーション・ビジターセンターにある12mの巨大なゴールデン・ギターは迫力満点。



■タムワース
<https://jp.sydney.com/destinations/country-nsw/tamworth-area>
■カントリー・ミュージック・フェスティバル
<https://www.tcmf.com.au>
■ビッグ・ゴールデン・ギター
<https://www.destinationtamworth.com.au/operator/big-golden-guitar/>

ダボ Dubbo

州マップ: C-4

シドニーから北西へ約400km。アボリジナル・ビープリの言葉で「赤い土」を意味するのどかな街。ダボでは、シドニーにあるタロンガ動物園の姉妹動物園タロンガ・ウェスタン・プレイン・ズを訪れよう。300ha以上の敷地面積を誇る園内には、貴重な絶滅危惧種を含めた1000種類以上の動物が飼育されている。広大な園内は徒歩以外にも自転車、カートまたは車で周遊可能。クロサイやミミアキャット、キリンなどのショーも見逃せない。園内に設置されたキャバネットに泊まり、快適空間で大自然を楽しむグランピングを楽しむたいなら、野生動物の真の姿に迫ることができるピラボンキャンプ体験ではライオンの唸り声も聞けるかもと動物好きにはたまらない動物園。

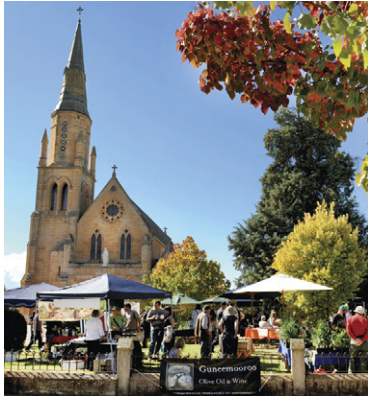


■タロンガ動物園
<https://www.taronga.org.au>
■ダボ
<https://dubbo.com.au/>
<https://jp.sydney.com/destinations/country-nsw/dubbo-area>

マジー Mudgee

州マップ: C-4

シドニーの北西に位置する美しい風景が素敵なカントリータウン。ゴールドラッシュ時代の1850年代から続くワインの産地として知られるこの地域では 40 以上のワイナリーが点在し、良質なシルドネとカベルネソーヴィニヨン、シラーズが生産される。寒暖差が激しい気候によって育まれたブドウを熟成したコクと風味のあるワインをぜひとも試したい。毎月開催されるマジー・ファイン・フーズ・ファーマーズ・マーケットも見ごたえがあり、会場の聖マリア教会にワインはもちろん、地元で採れた野菜やチーズなど新鮮な食材が並ぶ。



Credit: Amber Hooper

■マジー
<https://jp.sydney.com/destinations/country-nsw/mudgee-area>
<https://www.visitmudgeeregion.com.au/>
■マジー・ファイン・フーズ・ファーマーズ・マーケット
<https://mudgeefinefoods.com.au/farmers-market/>

オレンジ Orange

州マップ: C-4

美食の街オレンジには80以上のぶどう園と30以上のワインのセラーダアーズが点在するワイン産地。特に冷涼な気候の中で造られるワイン産地としても有名。街の農家が収穫されたりんごやイチジク、キノコなどの新鮮な食材が豊富に揃う毎月開催のファーマーズ・マーケットや、大規模なピクニックに参加できる4月のオレンジ・フード・ウィーク、自分好みのワインを探せる10月のオレンジ・ワインフェスティバルと、グルメ好きをうならせるイベントが多い。オレンジはオーストラリアのトリュフの産地としても有名。おいしいワインとトリュフも堪能できる。



Credit: Orange F.O.O.D Week

■オレンジ
<https://jp.sydney.com/destinations/country-nsw/orange-area>
■オレンジ・ファーマーズ・マーケット
<https://www.orangefarmersmarket.org.au/>
■オレンジ・フード・ウィーク
<http://orangefoodweek.com.au>

カウラ Cowra

州マップ: D-4

シドニーから西へおよそ300kmに位置するカウラは、日本と関係の深い街。第二次世界大戦中「カウラ・ブレイク・アウト」と呼ばれる日本人捕虜収容所集団脱走事件の舞台となり、1979年に日本とオーストラリアの友好関係の象徴として造られた日本庭園や、脱走事件で亡くなった日本人の墓地がある。造園家の中島健氏によってデザインされた5haの敷地には、茶室や盆栽ハウスなども設けられ、オーストラリアにないが日本の美を垣間みられる。オーストラリア200周年のプロジェクトとして1988年に1988本もの桜を植えた桜並木はサクラ・アベニューと呼ばれ、カウラ日本庭園の園内に植えられた桜が開花する毎年9月下旬には日本文化の紹介もあるカウラ桜まつりが開催される。



■カウラ日本庭園・文化センター
<https://www.cowragarden.com.au>
■カウラ
<https://visitcowra.com.au>

サザン・ハイランド Southern Highlands

州マップ: D-4

シドニー近郊の牧歌的なサザン・ハイランドは、緑の牧草地や緩やかな丘陵、滝などの大自然とグルメやワインが楽しめる。毎年春にチューリップ・フェスティバルが開催されるボウラルは、サザン・ハイランドの中心としてしゃれたショッピングやグルメが楽しめる街。シドニーから車で90分、電車で約2時間半と日帰りでも十分楽しめる。地元のおいしい料理もさることながらこの地域のワイナリーやセラーダアの訪問もおすすめ。ボウラルから車で40分の距離にある緑豊かなカンガルー・パレーは星空の下でキャンプや川でカヤックを楽しむ。



■サザン・ハイランド
<https://jp.sydney.com/destinations/country-nsw/southern-highlands>
<https://www.visitsouthernhighlands.com.au>

ウーロンゴン Wollongong

州マップ: D-4

シドニーから車で1時間半南に位置するニュー・サウス・ウェールズ州第三の都市。庄巻の断崖と美しいビーチが印象的な街で、シドニーから南への最も景色が美しいルートと言えるグラッド・パシフィック・ドライブを車で旅するのがおすすめ。近郊のビーチでは、ハングライダーやスカイダイビングなどのアクティビティが盛ん。シンビオ・ワールドライフ・パークに立ち寄ればコアラを観察したりカンガルーに餌付けしたりと、野生動物と触れ合うこともでき、パークで行われるショーやデモンストレーションも見逃せない。また国際色豊かなウーロンゴン大学での学びもおすすめ。



Credit: Dee Kramer Photography

■ウーロンゴン
<https://jp.sydney.com/destinations/south-coast/wollongong-and-surrounds>
<https://www.visitwollongong.com.au/>
■シンビオ・ワールドライフ・パーク
<http://symbiozoo.com.au>
■ウーロンゴン大学
<https://jp.uow.edu.au>

ベイトマンズ・ベイ Batemans Bay

州マップ: D-4

シドニーから南へ約280kmに位置する海沿いの街。ベイトマンズ・ベイという名は1770年にキャプテン・クックが名付けたと言われる。美しく透き通った海では釣りやサーフィンが楽しめる。ベイトマンズ・ベイ・シュノーケリング・トレイルと呼ばれるスポットがあるほどマリナックティビティが盛ん。クライド川の穏やかな流れでは釣り、カヤックも楽しみ、ポート・ハウスに泊まるのもユニークな体験。ウォンバットや蛇などの動物とのふれあいを楽しむなら100種類以上の鳥や動物を飼育しているバードランド・アニマル・パークを訪れたい。この地域は牡蠣も有名なので訪れた際には街のレストランで味わってみよう。世界最古の生活文化、先住民体験するならベイトマンズ・ベイからさらに南のティルバ (Tilba) のナラン・ナランカルチャー・アウェアネスが行なっているトラディショナル・アボリジナル・カルチャーがおすすめ。
■ベイトマンズ・ベイ
<https://www.visitnsw.com/destinations/south-coast/batemans-bay-and-eurobodalla/batemans-bay>
■トラディショナル・アボリジナル・カルチャー
<https://ngaranaboriginalculture.com>



ポート・スティープンス Port Stephens

州マップ: C-5

黄金の砂浜が広がる閑静なビーチとマリンレジャーが有名な街。イルカウォッチングの聖地としても知られ、美しい海には約150頭のバンドウイルカが生息する。ネルソン・ベイ発のクルーズなら、イルカたちを間近で観察できる確率が高い。5月から10月に現れるザトウクジラのホエールウォッチングもあり、水面からのぞかせる迫力満点の姿をトマリー国立公園の岬もしくはクルーズ船から見る事ができる。オークペール・ワイルドライフ・パークではオーストラリア固有の動物たちにも出会え、コアラの治療と保護を目的とするコアラ・サンクチュアリでは、保護中のコアラを観察できグランピング施設も併設されているので宿泊も楽しめる。

■ポート・スティープンス
<https://www.portstephens.org.au/>
■ムーンシャドウ・TQC クルーズ
<https://www.moonshadow-tqc.com.au>
■オークペール・ワイルドライフ・パーク
<https://oakvalewildlife.com.au/>
■ポート・スティープンス・コアラ・サンクチュアリ
<https://www.portstephenskoalasansctuary.com.au/>



ポート・スティープンスといえば、ユニークな砂丘アクティビティが人気。なかでもスリル満点なのが、どこまでも続く砂丘を4輪バギーで走り抜ける砂丘ドライブ。南半球最大級の砂丘を駆け抜ける臨場感はこちらでしか味わうことができないので、絶叫系のアトラクションが好きな人にはぜひおすすめ。走行前にはガイドによる丁寧な指導もある。運転に抵抗がある人は、4WDツアーに参加して4WD車に乗って砂丘体験もできる。またボードを使って砂丘を滑り降りるサンドボーディングに挑戦してみてもいい。砂の上を豪快に滑り降りる爽快感は、やみつきになること間違いなし。

■砂丘4輪バギーアドベンチャー
<https://www.sandduneadventures.com.au>
■砂丘4WDツアー
<https://www.portstephens4wd.com.au> <https://4wdtoursrus.com.au/>

コフス・ハーバー Coffs Harbour

州マップ: B-5

美しい景観に囲まれたニュー・サウス・ウェールズ州ノース・コーストのコフス・ハーバーは国内で人気のリゾート。有名な巨大オブジェ（ビッグ・シングス）のひとつ、街のパナナ産業を象徴する「ビッグ・パナナ」も有名だ。釣りやサーフィン、セーリング、スリル満点のスカイダイビングなどの充実したアトラクションを楽しみたい。ソリタリー・アイランド水族館では色鮮やかなクマノミなど多様な海洋生物が観察できる。コフス・ハーバーの少し北に位置するエメラルド・ビーチでは周辺に生息するイースタン・グレイ・カンガルーに出会えるかも。

■コフス・ハーバー
<https://jp.sydney.com/destinations/north-coast/coffs-harbour-area>
■ソリタリー・アイランド水族館
<https://www.solitaryislandsaquarium.com>
■ビッグ・パナナ
<https://www.bigbanana.com>



ポート・マッコリー Port Macquarie

州マップ: B-5

シドニーから北へ約400km、コアラ・ホスピタルとアウトドアスポーツのスポットとして知られる。ヘイスティング・リバーや点にするビーチの美しい自然の中、スカイダイビングやパラグライダー、乗馬などのアクティビティを体験できる。トライアスロンのレース「アイアンマン70.3ポート・マッコリー」はオーストラリアでも有名なアイアンマンレース。穏やかなヘイスティング・リバーでスィムを行い、美しい海岸線でのライドや街中のランは観客からの声援が応援してくれる。カキなどの新鮮なシーフード、ワイン、いちごの産地としても知られ、いちご狩りを体験できる農園もある。地元の豊かな食材を使った料理を堪能しよう。

■ポート・マッコリー
<https://jp.sydney.com/destinations/north-coast/port-macquarie-area>
■アイアンマン・ポート・マッコリー
<https://www.ironman.com/im703-port-macquarie>
■いちご農園
<http://www.ricardoes.com>



Credit: Dolly Carr



コアラの治療と保護を専門とする有名なコアラ病院のコアラ・ホスピタルは一般公開されており、ホスピタル内のコアラをサポートするコアラ里親プログラムもある。「ハローコアラ」プロジェクトはポート・マッコリーの名物のひとつだ。街中にペイントを施した1m弱のコアラが設置されている。花柄やスーパーヒーロースタイルのコアラなど80以上の様々なコアラは見ているだけでも楽しい。ポート・マッコリーの街を巡りながらお気に入りのコアラを探してみるのはいかが。

■コアラ病院
<https://www.koalahospital.org.au>
■ハローコアラ
<https://www.hellokoalas.com/>

グラフトン Grafton

州マップ: B-5

薄紫色をしたジャカランダの花が咲き誇る街として有名。オーストラリアでは、10月の春の季節に見られる花として知られているが、街中のジャカランダが開花する風景は必見。毎年ジャカランダが見頃の10月から11月にかけて開催されるジャカランダ・フェスティバルは1934年から開催されている歴史あるフェスティバル。国内外から多くの花見客で賑わいパレード、コンサートなどプログラムも盛りだくさん。開花の時期を迎えると、街を行き交う人々の服装や店など、街全体が薄紫一色に染まるのも見どころ。オーストラリア版の桜とも言えるジャカランダ・フェスティバルを見るために、是非グラフトン訪れたい。

■ジャカランダ・フェスティバル
<https://www.jacarandafestival.com>



バイロン・ベイ Byron Bay

州マップ: A-5

シドニーからバイロン・ベイ近郊のバリナヘは国内線で1時間15分。世界遺産の Gondwana 多雨林、ウォランビン（マウントウォーニング）国立公園やナイトキャップ国立公園など、深緑と清流にあふれるエリア。サーフカルチャーやアウトドアアドベンチャーの質の高さにも定評があり、街の中心地にはお洒落なカフェ、ショップが点在し、灯台のケープ・バイロン・ライトハウスはオーストラリアの最東端に位置する。地元のトロピカルフルーツや野菜などが並び、毎月開催のメイン・ビーチで行われる人気のバイロン・ベイ・コミュニティマーケット、バイロンから車で30分のバリナにあるビッグ・シングスのひとつ「ビッグ・プローン」も有名。

■バイロン・ベイ
<https://jp.sydney.com/destinations/north-coast/byron-bay-area>
■クリスタルブルック・バイロン
<https://www.crystalbrookcollection.com/byron>
■エレメンツ・オブ・バイロン
<https://www.elementsofbyron.com.au>
■ビッグ・プローン
<https://www.discoverballina.com.au/visit/big-prawn>



Credit: Lets Go Surfing

上空からジャンプするスカイダイビングに挑戦すれば急降下する体験はスリル満点。ダイビング中、眼下にはノース・コーストの美しいビーチをはじめ、太平洋、 Gondwana 多雨林のワイルドな景色が広がる。1人でのジャンプに抵抗がある人は、インストラクター同行のタンデムジャンプも体験できる。マリンレジャー派の人は、シーカヤックやサーフィングがオススメ。レッスンツアーに参加すれば、未経験でも気兼ねなく楽しく、季節によってはクジラやイルカ、カメに遭遇できる。

■ケープ・バイロン・カヤックス
<https://www.capebyronkayaks.com>
■レッツゴー・サーフィン
<https://letsgosurfing.com.au>

トウイード・ヘッズ Tweed Heads

州マップ: A-5

ニュー・サウス・ウェールズ州とクイーンズランド州の州境にある街。37kmもの長さを誇る美しい海岸線や、世界遺産にも指定されている熱帯雨林が近くにある。内陸部にあるトロピカル・フルーツ・ワールドには500種類以上のフルーツが栽培されており、チョコレートブディングフルーツやチューインガムツリーなどの珍しいエキゾチックフルーツが揃う。ガイドが園内を案内してくれるプランテーションサファリや果樹園を探索する散策ツアーや果物狩りを楽しみたい。リバーポートクルーズに乗ってのんびりしたり、キャッチ・ア・クラブのカニ取り体験もおすすめ。

■トウイード・ヘッズ
<https://jp.sydney.com/destinations/north-coast/the-tweed-area>
■トロピカル・フルーツ・ワールド
<https://www.tropicalfruitworld.com.au>



Credit: David Kirkland

ジャービス・ベイ Jervis Bay

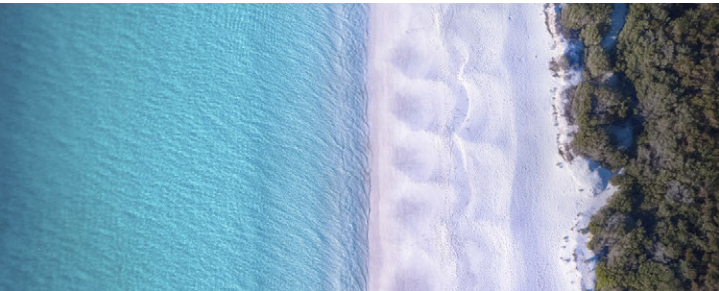
州マップ: D-4

ニュー・サウス・ウェールズ州のサウス・コーストに位置するジャービス・ベイはバンドウイルカやアザラシ、ペンギンの生息地として知られ、1年を通して野生の哺乳類を観察できる。中でもドルフィン・ウォッチング・クルーズとホエール・ウォッチング・クルーズは人気。近郊のビーチは海水の透明度が高く、スキューバダイビングやシュノーケリングなどのアクティビティを堪能したい。隣接する海洋公園のアーデリー国立公園では、ブッシュウォークをしながらアボリジナル・ビーブルの遺跡を巡ったり、ピクニックをしたりとアウトドアを満喫。運がよければ、岬からザウクワラやミナミセメクワラ、ミンクワラが見られるかもしれない。



Credit: Dolphin Watch Cruises Jervis Bay

■ジャービス・ベイ
<https://jp.sydney.com/destinations/south-coast/jervis-bay>
■ドルフィン・ウォッチ・クルーズ
<https://www.dolphinwatch.com.au>



ジャービス・ベイ近郊には美しいビーチが点在。中でもハイアムス・ビーチはきめの細かい真っ白い砂で世界的にも有名。スイミングやカヤック、フィッシング、スタンドアップパドルボード、ボートを楽しむのに最適。人里離れた湾や入り江を通り過ぎるのどかなホワイト・サンズ・ウォークに参加すれば、途中でカラフルなオーストラリアのインコが見られるかもしれない。近郊のナウラにあるショールヘブン・ズーに立ち寄ればかわいいオーストラリア固有の動物たちにも出会える。

■ショールヘブン・ズー
<https://shoalhavenzoo.com.au/>

ジンドバイン&スノーウィー・マウンテンズ Jindabyne & Snowy Mountains

州マップ: E-4

ニュー・サウス・ウェールズ州の南東部にある高山地帯の街は小さいながらもレジャー施設が充実し、冬はスキーやスノーボードなどのウィンタースポーツを楽しむ人々、夏はウォーキング、ハイキングをする人々にぎわうエリア。オーストラリアで最も標高が高いスノーウィー・マウンテンズのゲレンデで体験するウィンタースポーツはスリル満点。七大陸最高峰の一つでオーストラリア大陸最高峰のマウント・コジオスコは標高2,228m。ウォーキング・トラックは整備されているが、冬の時期は雪でクローズしている箇所もあるので登山およびウォーキングはオーストラリアの夏の時期にしよう。



Credit: Tourism Snowy Mountains

■スノーウィーマウンテンズ
<https://www.snowymountains.com.au>
<https://jp.sydney.com/destinations/snowy-mountains>
■マウント・コジオスコ
<https://www.visitnsw.com/destinations/snowy-mountains/kosciuszko-national-park/summit-walk>

メルンブラ&エデン Merimbula & Eden

州マップ: E-4

メルンブラとエデンはホエールウォッチングの名所として知られ、サファイア・コーストと呼ばれるエリア。5月から11月の時期にはきらめく海原を悠々と泳ぐクワラが見られる。エデン・キラール・ホエール・ミュージアムではエデンとクワラの歴史を学ぶことができる。捕鯨で使用された道具や船などのクワラにまつわる展示を鑑賞でき、エデンとクワラにまつわる展示物が見られる。南北に広がるベン・ボイド国立公園も、波や風の浸食によって切り出された印象的な岩のアーチや洞窟、ふさふさした尾を持つオオフクロモモンガなどがあり、バードウォッチングもできる。地元のレストランでは、有名な牡蠣やシーフードを存分に味わいたい。メルンブラは国内からのホリデースポットとして人気。美しい弧を描くメイン・ビーチでサーフィンをしたり、メルンブラ湖でセールボードやカヌーをしたりと、のんびり過ごすのがおすすめ。
■エデン・キラール・ホエール・ミュージアム
<http://killerwhalemuseum.com.au>
■エデン
<https://jp.sydney.com/destinations/south-coast/eden>
■メルンブラ
<https://www.escapepomerimbula.com.au>

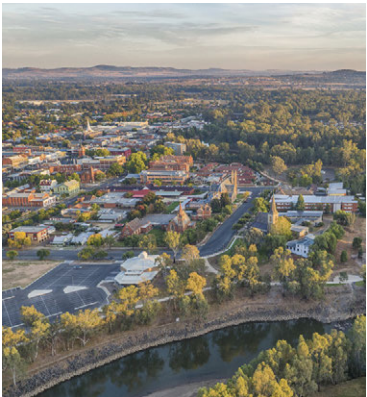


ワガワガ Wagga Wagga

州マップ: D-3

ニュー・サウス・ウェールズ州の南部に位置し、シドニーより飛行機で約1時間。オーストラリアの最も農業が盛なりペリナ地区の中心地の一つで小さな美しい街。肥沃な農業地帯のワガワガは農業視察や研究機関の視察が盛ん。この地域ならではの四季折々の豊かな表情が楽しく、春はガーデンに花が咲き乱れ、夏には川での水遊びなどが満喫できる。サイクリングしたり、川沿いの遊歩道を散策するのもいい。美味しい食事やワインも見逃せない。ワイナリーのセラーダを訪れてお気に入りのワインを見つけるのもおすすめ。

■ワガワガ
<https://visitwagga.com>
<https://www.visitnsw.com/destinations/country-nsw/riverina/wagga-wagga>



グリフィス Griffith

州マップ: D-3

オーストラリアは世界でも有数のオーガニック農業の国。中でもニュー・サウス・ウェールズ州南西部リベリナ地区のグリフィスはオーストラリア農業の中心地の一つ。農業で有名なこの地域には、米、ナッツ、チェリー、柑橘類、野菜、綿花、果物など様々な作物を栽培している大規模農場が広く横たわる。オーガニック農業、リジェネラティブ農業などのファーマーシングシステムを採り入れている農場も多い。ワインの生産量はニュー・サウス・ウェールズ州で最大の量を誇り、ワールドクラスの質を誇るワイナリーを巡り、地元の新鮮な農産物を楽しむのもこの地域を訪れる楽しみのひとつ。地元のアグリカルチャー・ツアーズ・リベリナでは学生や企業の農業視察など小規模農園から大規模農園の視察手配が可能。

■グリフィス
https://www.griffith.nsw.gov.au/cp_themes/visit/
■アグリカルチャー・ツアーズ・リベリナ
<https://www.agriculturaltourserverina.com.au/about-us/>



マンゴ国立公園 Mungo National Park

州マップ: C-2

ニュー・サウス・ウェールズ州の南西部に位置する人里離れた砂漠地帯。世界最古の火葬儀礼遺跡があることでも知られる。その魅力は何といっても自然が作り出した世界でも類を見ない荒々しくも壮麗な絶景。先史時代の景観が今も残る重要なスポットとして位置づけられており、「オーストラリア大陸の人類学研究における唯一無二の遺跡」として世界遺産に認定されている。考古学に興味があるなら、現地のアボリジナル・ビーブルのガイドツアーに参加し、ユーカリの化石やカンガルーの巨大な骨を見ながらアボリジナル文化の知識を深めに行こう。自然の神秘を体感できること間違いなし。

■マンゴ国立公園
<https://jp.sydney.com/destinations/outback-nsw/adventure-in-mungo-national-park>
■アボリジナル・ディスカバリー・ツアー
<http://www.visitmungo.com.au/aboriginal-discovery-tours>
■マンゴ・ロッジ
<https://www.mungolodge.com.au>



ブローケン・ヒル Broken Hill

州マップ: C-1

シルバー・シティとも呼ばれる世界でも有数の鉱山産業地帯として栄え、現在もオーストラリアのアウトバックを代表する街。地域一帯は息をのむほど雄大な自然が広がる。街から車ですぐの距離にあるリビング・デザート・フローラやファウナ保護区を探訪すれば、自然保護区に指定された砂漠丘陵の頂き付近にそびえる印象的な砂岩の彫刻が見られる。街を一望するなら、慰霊碑のライン・オブ・ローデ・マイナース・メモリアルから見える眺望が絶好の撮影スポット。また、荒野の町シルバートンには歴史的建造物が今でもあり、この地域はいくつもの映画の舞台となった場所でもある。

■ブローケン・ヒル
<https://jp.sydney.com/destinations/outback-nsw/broken-hill>
■シルバートン
<https://jp.sydney.com/destinations/outback-nsw/silverton>



ロード・ハウ島 Lord Howe Island

州マップ: B-6

オーストラリア本島から東へ600km、長さ11kmしかない自然豊かな世界遺産の小さな島は「楽園」とも称され、1日に訪問者は400人しか宿泊が許されない特別な島。澄み切った水中に棲息する500種類以上の熱帯魚やカメと泳いだり、固有種の鳥を探すバードウォッチングなどユニークなアクティビティが多い。875mのゴウ山を登った頂からは素晴らしい景色が広がり、孤島でしか味わえない体験に感動することだろう。カヤック、ウィンドサーフィン、スタンドアップパドルボードなどに挑戦してみるのも、単なるレジャーにとどまらない楽園ならではの発見がある。世界遺産のロード・ハウ島で美しい景観を堪能しながら特別な体験をしよう。

■ロード・ハウ島
<https://jp.sydney.com/destinations/lord-howe-island>
<https://lordhoweisland.info/>
■カペラ・ロッジ
<https://capellalodge.com.au>



Credit: Zach Sanders